

果樹の安定生産に向けた支援

収量・品質の安定化で産地維持

活動年次：令和4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

1 課題設定の背景 *****

対象：JAさっぽろ果樹部会（43戸）

<現状と課題>

- ・大都市近郊の観光果樹地帯
- ・新規参入等多様な農業者
- ・栽培技術の個人差により収量品質のばらつきが大きい
- ・病害虫、鳥獣害などによる突発的な被害の発生



<具体的な対策>

- 果樹生育・病害虫発生予察調査・巡回
 - ・りんご、おうとう等生育状況の把握
 - ・病害虫発生状況の把握
- 情報提供による栽培支援
 - ・適期防除、適期収穫に向けた各種情報提供
- 講習会の開催
 - ・栽培上の課題及び対応策の提案



収量・品質の安定化

2 活動の経過 *****

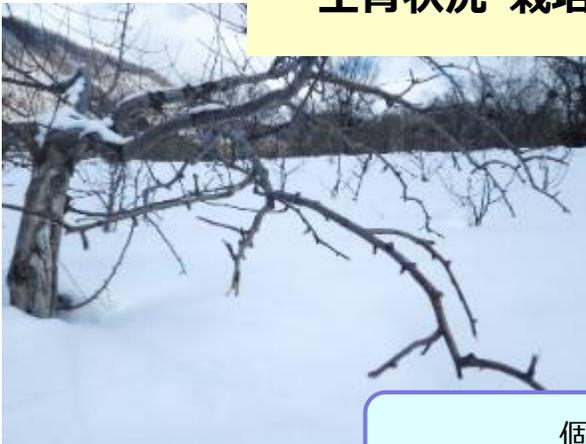
害虫発生予察調査
(フェロモントラップ)



果樹生育調査
熟度調査



生育状況・栽培実態の把握



個別巡回
(エゾシカによるりんごの食害状況)

F A X情報 (適期防除・適期収穫)

果樹情報 (vol.4)

令和4年7月
石狩農業センター
(Tel: 0133-23-2146)

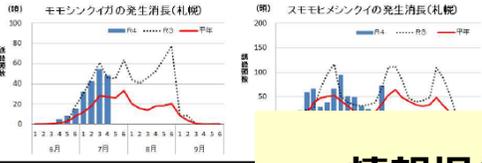
(vol.5)

令和4年8月23日(火)発行
石狩農業改良普及センター石狩北部支所
(Tel: 0133-23-2146)

シンクイムシ類の発生に注意

すもも(ブルー)・りんごなどの果実に被害をもたらすシンクイムシ類成虫の発生が多くなっていますので注意してください。

(1) 「シンクイムシ類」の発生状況 (札幌市白川)



りんごの管理と西洋なしの収穫について

りんご

1. 本年のりんご「つがる」の果実肥大は順調で、8月15日現在では平年を上回っています。
2. 「つがる」の収穫始めの目安は、満開後の日数(満開5/21から120日後の場合)から予想すると、平年並からやや早い9月18日と推察されます。ただし、今後の気象経過により前後します。生理落果しやすい「つがる」等における「落果防止剤」の散布は、下の表を参考として適期に散布して下さい。

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
ストッポール	1,000倍	収穫開始予定日の25~7日前	2回以内	・展着剤不要。 ・葉から吸。葉摘みは散布4~5日後から始める。 ・成熟促進作用がある。

情報提供による栽培支援

今後、注意が必要な病害

炭疽病・・・おうとう、りんご、ブルーベリー

おうとう・炭疽病



<生態等>

- ・果実では円形の凹んだ病斑を生じ、病斑上は鮮肉色の腐爛物を生じる。
- ・樹体上の枯死芽、落葉頂、短果枝で越冬した病原菌から降雨によって伝播する。高温多湿を好む。

<防除法>

- ・枯死した右果枝短果枝や小芽芽は除去する。
- ・落花期頃から収穫期と熟期に防除を行う。

病害名	被害果	被害率	被害果数	注意
りんご 炭疽病	100%	10%	200	1. 観心ハダシ病発生に併せて防除。防除剤は、収穫前と収穫後(収穫後1週間以内)に散布する。 2. 前年、果樹内の発生箇所では、果実を除去してはならない。 3. ツグミ類、オウゴン類の発生箇所は、発生箇所を、枝葉にハダシ病発生防止剤、又は、葉巻1日後にハダシ病発生防止剤を散布する。 4. スプラッシュは、収穫前と収穫後、熟後に散布する。ただし、マシコ病発生防止剤は、電化コブシ、収穫後散布する。 5. マシコ病発生防止剤は、収穫前と収穫後、熟後に散布する。 6. マシコ病発生防止剤は、収穫前と収穫後、熟後に散布する。 7. 樹体部には、落花期から収穫期まで、防除剤を散布する。発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。
りんご 炭疽病	100%	10%	200	1. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 2. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 3. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 4. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 5. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 6. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。 7. 発生箇所は、発生箇所から、発生箇所まで、防除剤を散布する。

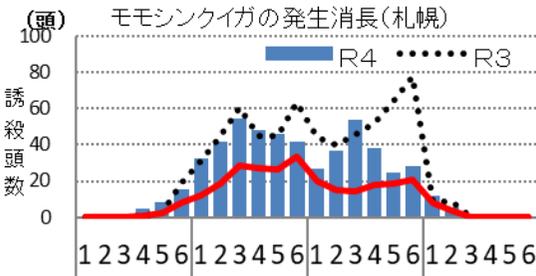
反省会 (果樹栽培上の課題と対策)

果樹防除例

3 活動の成果

- ◎個別巡回とともに農協を通じてタイミング良くFAX情報を提供でき、全般に病害虫による被害は少なかった。
- ◎適期防除・収穫により収量、品質はほぼ確保できた。

今年は病害虫の被害が少なく、着果量も平年並以上だよ



おうとう生育概要 (品種:「佐藤錦」)

地域名	年度	発芽期 (月・日)	開花始 (月・日)	満開期 (月・日)	落花期 (月・日)	収穫始 (月・日)	満開~収穫 始の日数	花束状果枝 当りの結実数(平年)
札幌市 南区	R4	4.11	5.6	5.9	5.23	6.30	52日	北光 3.9 (3.9)
	平年	4.14	5.9	5.13	5.23	7.3	51日	佐藤錦 2.9 (2.6)
	対比	早3日	早3日	早4日	±0	早3日	-1	南陽 1.1 (1.4)
<参考> 石狩市 浜益区	R4	4.8	5.5	5.9	5.19	6.25	47日	北光 4.5 (-)
	平年	4.14	5.9	5.14	5.19	6.30	47日	佐藤錦 2.6 (-)
	対比	早6日	早4日	早5日	±0	早5日	±0	南陽 0.9 (-)

4 今後の活動

果樹経営の安定化に向けた栽培支援の継続

- 果樹生育状況及び病害虫発生予察と個別巡回。
- 栽培技術習得と品質の高位平準化に向けた情報提供。
- 果樹振興・鳥獣害対策に向け地域係、関係機関との情報共有。